

なかよし！キッズ荒神っ子クラブ

無事終了しました。

荒神山自然の家自主事業である「なかよし！キッズ荒神っ子クラブ」。社会情勢もようやくすこし落ち着きを見せだんだん元に戻れそうな予感がしているとはいえ、定員を例年どおりの枠に設定したものの実際何名の応募があるか不安ななか開催準備を始めました。

11月に入ってすぐの5日の土曜日。当日は、小学校1年生から3年生までキッズ10人の子どもたちがここ、彦根市荒神山自然の家に集まってくれました。週間天気予報では晴れの予報がつづいていたので天気は安心していましたが、寒気が入ってくるということで気温がやや低めという感じでした。迎えた当日、天気予報通り晴れと思っていたのですが、曇り空で、朝方の気温はぐっと冷えてやや肌寒さを感じた日となりました。そのような中でいよいよ「なかよし！キッズ荒神っ子クラブ」のスタート！内容は、安全、安心をモットーに感染症予防対策を徹底しながらの開催ということでいつもどおりの活動とはならず制限をしながらの取り組みとしました。はじめのつどいには始まり、自己紹介タイム、秋の荒神山ハイキング&チャレンジランキング、野外クッキング、トートバッグ作り、おやつタイム、おわりのつどいと流れていきました。

はじめのつどいには、予定していた子どもたち全員が元気に参加しました。どの顔にも、すこしばかりの緊張感とわくわく感がたどよい、なんとなくギクシャク。いよいよキッズ荒神っ子クラブのスタートです。手始めに全員で写真撮影。その後班ごとに集まって、ボランティアスタッフのリーダーが中心となって自己紹介から始まりました。最初緊張していた子たちも和やかな雰囲気となり次第に笑顔が増えていきました。次の活



動は、「荒神山ハイキング」です。自然の家の夜の活動プログラムのナイトハイクにある中のひとつ、Bコースを歩きます。コース地図をたよりにクラフト棟をスタートします。ゴールは同じクラフト棟。途中クイズやゲー

ムがあってなかなかこれが大変。いきなりの出題が「赤い実をさがそう」。さあどこにあるかでみんなが一斉にあたりを探索。見つけたときには大喜びでポイント通過となりました。じゃんけんに全員が



勝ったら通過や所員スタッフの名前をいえたら通過できるなどバラエティある質問やクイズに悔しがったり、喜んだりしながらも約2キロほどのコースをおよそ、小一時間かけて全員が完歩しました。



とコーンスープ。自然の家にある耐熱ブロックを使って、簡易ピザ窯を作り、その中でピザを焼きます。単にピザ窯といっても、ブロック30個近くを組み合わせて作るの、さすがにこのピザ窯作りはキッズ達には難易度が高く、所員で2基作成しました。このピザ窯をあたためるのに約2時間30分ほど木片を炊き、温度を上げます。気温も思ったほど高くなかったので、結構時間がかかりました。

昼食は野外クッキング。ようやく従来の形を取ることができて所員も一安心。しかしながら、感染症対策は継続して行うということでこまかな気配りや目配りが欠かせません。メニューは、ピザ



しかし、ピザを入れすき間からのぞくピザの出来具合に、わくわく感が増してきました。窓からのぞいてチーズが溶けていく様やかすかに匂うほのかな匂いに待ち遠しくなってきました。できあがったピザは、焼き具合もよく、おいしい匂いを漂わせ、口の中に入れてにんまり。よい焼き具合ににっこりといったところでした。感想を聞いてみると、自分で作った経験はなく、具材をピザ生地のにせながらとても楽しくできたということでした。また、できあがったピザは、お店に売っているものと遜色ないやき具合とおいしさにびっくりしていたようです。



グにスタンプです。集めてきた葉っぱなどに絵の具を塗ってバッグにのせ、上に紙をおいて、バレンでこするのですが、

午後は、クラフト活動としての「トートバッグ作り」になります。まず机に新聞紙を敷いて、筆などを洗い道具を準備してさあ始めます。集めてきた落ち葉を使ってトートバッ



やはりキッズ。思うようにこすれないけどそこはご愛敬。スタッフなどの力を借りて完成。自分だけのオリジナルバックができあがったときには、そのできばえを見てにんまりしたり、友達同士見せ合いをしたりと、和やかな時間を過ごしました。その後、おやつにポップコーン作り。はじける音を楽しみにしていましたが、なんとなく聞こえたような・・・？でもこおぼしくおいしくできあがりました。



最後に、終わりのつどいをして、解散しました。早速、子どもたちは、保護者の方に今日の活動を笑顔で話している姿が見られました。

なお、この事業を行うために、10月30日（日）に支援スタッフに向けた事前研修会を開きました。クラフト作りでなれない面もありましたが、意欲的に活動できました。事前研修会をすることによりスタッフも当日の流れや内容が把握でき、当日はゆとりを持ち子どもたちに関わることができていたと感じます。



これからも子どもたちにかぎらず幅広い年齢層の方々が、荒神山自然の家に来て、たくさんの友だちとの出会いやお互いに楽しい時間が過ごせるように、さまざまな企画を考えてみなさまのおいでをお待ちしています。